

# 令和3年度下半期

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

## 宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県



令和3年度下半期

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

## 目 次

### 電気事業の業務状況

1	事業の概況	1	頁
2	経理の状況	2	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	5	〃
4	令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要	7	〃

### 工業用水道事業の業務状況

1	事業の概況	8	〃
2	経理の状況	9	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	12	〃
4	令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要	13	〃

### 地域振興事業の業務状況

1	事業の概況	14	〃
2	経理の状況	15	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	18	〃
4	令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要	19	〃

## 電気事業の業務状況

電気事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

### 1 事業の概況

本事業では、県内の6つの河川総合開発事業等により設置した14の水力発電所及び4つの太陽光発電設備において発電を行い、電気を供給しています。

令和3年度下半期は、降雨量が少なかったことから、供給電力量は7,996万kWh余で、目標に対する達成率は54.1%、電力料金収入は21億321万円余で、目標に対する達成率は95.9%となりました。

#### (1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月 別	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B - A)	達 成 率	
				令和3年度 (B/A)	令和2年度
10月	34,101	16,594	△ 17,507	48.7%	77.8%
11月	21,593	12,335	△ 9,258	57.1%	57.4%
12月	18,256	9,184	△ 9,072	50.3%	32.2%
1月	15,464	9,350	△ 6,114	60.5%	45.5%
2月	20,519	7,860	△ 12,659	38.3%	22.1%
3月	37,878	24,639	△ 13,239	65.0%	70.9%
下半期計	147,811	79,962	△ 67,849	54.1%	—
前年度下半期計	142,040	79,930	△ 62,110	—	56.3%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B - A)	達 成 率	
				令和3年度 (B/A)	令和2年度
営業収益分	2,163,015	2,089,488	△ 73,527	96.6%	98.6%
基本料金 (定額料金)	2,001,524	2,002,071	547	100.0%	102.0%
電力量料金 (従量料金)	161,492	87,417	△ 74,075	54.1%	56.2%
附帯事業収益分	30,031	13,731	△ 16,300	45.7%	60.8%
小水力発電料金 (従量料金)	28,122	11,613	△ 16,509	41.3%	57.3%
太陽光発電料金 (従量料金)	1,909	2,118	209	110.9%	108.8%
下半期計	2,193,046	2,103,219	△ 89,827	95.9%	—
前年度下半期計	2,148,416	2,107,604	△ 40,812	—	98.1%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合 計
	事 務 職	技 術 職	小 計		
下半期	27	93	120	10	130
前年度下半期	26	89	115	9	124

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

## 2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の減等により、事業収益の収入率は99.5%となりました。  
収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は85.4%となりました。

### (1) 収益的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

#### ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,610,680	4,562,211 (2,154,330)	△ 48,469	98.9%
電力料	4,527,109	4,484,382 (2,089,488)	△ 42,727	99.1%
営業雑収益	83,571	77,830 (64,841)	△ 5,741	93.1%
附帯事業収益	84,168	77,424 (14,056)	△ 6,744	92.0%
電力料（小水力発電）	79,160	72,751 (11,613)	△ 6,409	91.9%
電力料（太陽光発電）	4,313	4,348 (2,118)	35	100.8%
附帯事業雑収益	695	325 (325)	△ 370	46.8%
財務収益	240,907	264,381 (135,911)	23,474	109.7%
営業外収益	90,035	97,139 (51,412)	7,104	107.9%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	5,025,790	5,001,155	△ 24,635	99.5%
前年度事業収益	4,875,920	4,970,556	94,636	101.9%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	5,419,937	4,534,316 (2,577,214)	251,785	633,836	87.7%
附帯事業費用	73,904	60,348 (25,860)	0	13,556	81.7%
財務費用	21,382	21,381 (9,576)	0	1	99.9%
営業外費用	261,446	145,534 (21,387)	0	115,912	55.7%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	5,826,669	4,761,579	251,785	813,305	85.4%
前年度事業費	5,495,787	4,600,779	378,722	516,286	89.9%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## (2) 資本的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

## ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	119,991	110,842 (110,842)	△ 9,149	92.4%
固定資産売却代金	1	273 (273)	272	27,300.0%
貸付金返還金	69,967	69,968 (69,968)	1	100.1%
資本的収入	189,959	181,082	△ 8,877	95.3%
前年度資本的収入	71,223	80,163	8,940	112.6%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	5,578,005	2,560,863 (1,757,916)	2,614,412	402,730	86.4%
企業債償還金	324,074	324,074 (160,159)	0	0	100.0%
繰出金	1,000,000	1,000,000 (0)	0	0	100.0%
雑支出	60	30 (10)	0	30	50.0%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	7,002,139	3,884,967	2,614,412	502,760	88.5%
前年度資本的支出	3,861,414	2,233,293	1,376,061	252,060	89.9%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 1,000万円以上）

令和3年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 祝子発電所主要変圧器取替工事 160,499 千円
- ・ 総合監視制御システム一部更新工事 27,918 千円
- ・ 古賀根橋ダムほか震度計設置工事 25,985 千円
- ・ 祝子発電所所内低圧盤更新工事 25,254 千円
- ・ 企業局庁舎ハロゲン化合物消火設備取替工事 14,897 千円
- ・ 田代八重発電所建屋改修工事 10,304 千円

## (3) 損益計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収益の部は、電力料等により、45億7,869万円余となり、費用の部は、45億4,336万円余となった結果、3,532万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	4,578,697 (2,158,950)	
営業収益	4,148,457 (1,959,064)	電力料など
附帯事業収益	70,385 (12,778)	
財務収益	264,381 (135,911)	
営業外収益	95,474 (51,197)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	4,543,369 (2,555,072)	
営業費用	4,389,167 (2,473,480)	
附帯事業費用	60,059 (25,647)	
財務費用	21,381 (9,577)	
営業外費用	72,762 (46,368)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	35,327	
その他未処分利益剰余金変動額	324,074	
当年度未処分利益剰余金	359,401	

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## (4) 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	26,657,036	固定負債	2,292,743
電気事業固定資産	14,295,826	建設改良企業債	394,057
附帯事業固定資産	650,258	リース債務	24,228
事業外固定資産	227,123	引当金	1,867,458
固定資産仮勘定	1,989,190	雑固定負債	7,000
投資その他の資産	9,494,639	流動負債	4,128,418
流動資産	22,246,113	建設改良企業債	208,177
現金及び預金	441,480	リース債務	8,971
未収金	670,174	引当金	73,725
貯蔵品	2,103	未払金	1,334,097
短期投資	21,132,356	未払費用	424,318
		預り金	5,129
		雑流動負債	2,074,000
		繰延収益	722,474
		長期前受金	2,030,012
		長期前受金収益化累計額	△ 1,307,538
		負債合計	7,143,634
		資本金	29,291,995
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	29,257,343
		剰余金	9,902,306
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	9,580,483
		評価・換算差額等	2,565,214
		その他有価証券評価差額金	2,565,214
		資本合計	41,759,515
資産合計	48,903,149	負債資本合計	48,903,149

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。



### 3 資産・企業債及び借入金の現在高

#### (1) 資産

令和4年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
電気事業固定資産	14,295,826	水力発電設備	12,212,573
		送電設備	567,170
		業務設備	1,516,084
附帯事業固定資産	650,258	小水力発電設備	586,450
		太陽光発電設備	63,808
事業外固定資産	227,123	有形固定資産	172,979
		分収林	54,144
固定資産仮勘定	1,989,190	建設仮勘定	1,989,190
投資 その 他の 資産	長期投資	株式	3,130,782
		出資金	9,160
		長期貸付金	2,684,788
	基金	減債基金	602,235
		濁水等欠損準備基金	1,200,000
特別修繕基金		1,395,427	
退職給付基金		472,031	
その他資産	217	長期前払金	217
現金及び預金	441,480	当座預金	141,480
		定期預金	300,000
未収金	670,174		
貯蔵品	2,103		
短期投資	21,132,356		
合 計	48,903,149		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和4年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	37,026,940	602,235	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,241,393	7,482	
渡川発電所	4,051,000	4,035,420	15,580	
綾第一発電所	7,314,000	7,256,070	57,930	
綾第二発電所	4,056,000	4,047,013	8,987	
立花発電所	2,403,000	2,403,000	0	
三財発電所	2,328,000	2,219,562	108,438	
岩瀬川発電所	3,091,000	3,082,505	8,495	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,327,000	0	
田代八重発電所	2,942,000	2,546,677	395,323	
浜砂発電所	1,436,000	1,436,000	0	
設備近代化	1,777,000	1,777,000	0	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	38,273,140	602,235	償還率 98.5%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,599,909	364,495	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	16,678,260	237,740	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	38,273,140	602,235	償還率 98.5%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

令和4年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和4年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

#### 4 令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要

##### (1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

##### (2) 業務予定量

水力発電等に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ7,861万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 497,058	千kWh 479,161	103.7%
料金収入 (目標)	千円 4,531,967	千円 4,610,582	98.3%

##### (3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減等により昨年度に比べ8,970万円余の減、事業費は、営業費用の減等により3億4,694万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は1億6,491万円余のマイナスを見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	4,936,088	5,025,790	△ 89,702	営業収益の減
	事業費	5,101,006	5,447,947	△ 346,941	営業費用の減
	収支残	△ 164,918	△ 422,157	257,239	
資本的 収支	資本的収入	80,615	189,959	△ 109,344	工事負担金の減
	資本的支出	3,112,435	5,626,078	△ 2,513,643	建設改良費の減
	収支残	△ 3,031,820	△ 5,436,119	2,404,299	

※資本的収支の不足額 3,031,820千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

#### 5 むすび

以上が、電気事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

## 工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

### 1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000<sup>m</sup>で、現在14社に給水を行っています。

令和3年度下半期は、常時使用水量は 1,129万<sup>m</sup>余で、目標に対する達成率は89.8%、給水料金収入は1億 8,283万円余で、目標に対する達成率は94.4%となりました。

#### (1) 給水状況

(単位：千<sup>m</sup>)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					令和3年度 (B/A)	令和2年度	
10月	3,044	1,665	1,609	△ 56	96.6%	100.3%	1,434
11月	2,945	1,612	1,540	△ 72	95.5%	100.1%	1,406
12月	3,819	2,633	2,558	△ 75	97.2%	98.7%	1,260
1月	3,819	2,633	2,558	△ 75	97.2%	98.7%	1,260
2月	2,749	2,378	1,437	△ 941	60.4%	98.7%	1,312
3月	3,044	1,665	1,594	△ 71	95.7%	100.1%	1,449
下半期計	19,419	12,585	11,296	△ 1,289	89.8%	—	8,122
前年度下半期計	20,119	12,684	12,589	△ 95	—	99.3%	7,530

※令和3年度年間常時使用水量(目標) 22,417千<sup>m</sup>

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				令和3年度 (B/A)	令和2年度
常時使用水量分	143,977	129,231	△ 14,746	89.8%	99.2%
未達水量分	49,720	53,608	3,888	107.8%	99.6%
下半期計	193,697	182,838	△ 10,859	94.4%	—
前年度下半期計	195,019	193,713	△ 1,306	—	99.3%

※料金単価 基本料金：10.4円/<sup>m</sup>、未達料金：6.0円/<sup>m</sup>、超過料金：20.8円/<sup>m</sup>

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合計
	事 務 職	技 術 職	小 計		
下半期	0	6.9	6.9	1	7.9
前年度下半期	0	6.9	6.9	1	7.9

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

※各年度とも0.9人は地域振興事業会計との兼務

## 2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の減等により、事業収益の収入率は 96.8%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は 74.1%となりました。

### (1) 収益的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

#### ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	362,394	350,019 (183,602)	△ 12,375	96.6%
営業外収益	35,774	35,346 (17,897)	△ 428	98.8%
特別利益	0	0 (0)	0	—
<b>事業収益</b>	<b>398,168</b>	<b>385,366</b>	<b>△ 12,802</b>	<b>96.8%</b>
前年度事業収益	409,642	409,874	232	100.1%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	451,353	334,445 (221,405)	0	116,908	74.1%
営業外費用	16,643	16,583 (11,691)	0	60	99.6%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	6,000	0 (0)	0	6,000	0.0%
<b>事業費</b>	<b>473,996</b>	<b>351,028</b>	<b>0</b>	<b>122,968</b>	<b>74.1%</b>
前年度事業費	422,181	366,014	499	55,668	86.8%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	770	770 (770)	0	100.0%
固定資産売却代金	1	30 (30)	29	3,000.0%
資本的収入	771	800	29	103.8%
前年度資本的収入	1	2,888	2,887	288,800.0%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	36,735	25,299 (24,432)	3,498	7,938	76.1%
企業債償還金	1,410	1,410 (711)	0	0	100.0%
借入金償還金	60,000	60,000 (60,000)	0	0	100.0%
雑支出	20	9 (9)	0	11	45.0%
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
資本的支出	108,165	86,718	3,498	17,949	82.9%
前年度資本的支出	478,335	395,506	849	81,980	82.8%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和3年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 直流電源装置取替工事 15,224 千円
- ・ 企業局庁舎改修工事 1,868 千円
- ・ 総合監視制御システム一部更新工事 1,782 千円

## (3) 損益計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収益の部は、給水収益等により3億5,370万円余となり、費用の部は、3億2,159万円余となった結果、3,211万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	353,706 (184,810)	
営業収益	318,360 (166,913)	給水収益など
営業外収益	35,346 (17,897)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	321,594 (210,492)	
営業費用	321,136 (210,103)	
営業外費用	458 (389)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	32,112	
その他未処分利益剰余金変動額	61,410	
当年度未処分利益剰余金	93,522	

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## (4) 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,300,095	固定負債	1,953,753
有形固定資産	2,295,322	建設改良企業債	1,500
無形固定資産	2,994	建設改良他会計借入金	720,000
固定資産仮勘定	1,620	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	159	引当金	41,027
流動資産	1,973,936	流動負債	157,715
現金及び預金	53,161	建設改良企業債	1,454
未収金	29,915	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	24,147
雑流動資産	1,890,000	未払費用	68,273
		預り金	395
		引当金	3,445
		繰延収益	394,584
		長期前受金	827,343
		長期前受金収益化累計額	△ 432,759
		負債合計	2,506,052
		資本金	703,371
		固有資本金	2,906
		組入資本金	700,465
		剰余金	1,064,607
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,063,438
		資本合計	1,767,978
資産合計	4,274,031	負債資本合計	4,274,031

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

### 3 資産・企業債及び借入金の現在高

#### (1) 資産

令和4年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容
有形固定資産	2,295,322	土地 11,913
		建物 90,396
		構築物 1,520,999
		機械及び装置 669,131
		備品 2,883
無形固定資産	2,994	電話加入権 569
		ソフトウェア 2,424
固定資産仮勘定	1,620	建設仮勘定 1,620
投資その他の資産	159	出資金 140
		長期前払金 19
現金及び預金	53,161	当座預金 53,161
未収金	29,915	
貯蔵品	860	
雑流動資産	1,890,000	
合計	4,274,031	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (2) 企業債

令和4年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	174,045	2,955	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	780,000	0	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,126,045	2,955	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (3) 一時借入金

令和4年3月31日現在、一時借入金はありません。

#### (4) 他会計借入金

令和4年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	
電気事業会計	2,924,405	953,180	1,971,225	
合計	4,671,011	2,699,786	1,971,225	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。



#### 4 令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要

##### (1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

##### (2) 業務予定量

年間総給水量は、14社との契約水量を踏まえ 3,583万 $\text{m}^3$ 余としています。料金収入は、日向市への給水が終了したことなどにより、前年度に比べ 3,155万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 $\text{m}^3$ 35,836	千 $\text{m}^3$ 38,086	94.1%
料金収入 (目標)	千円 328,305	千円 359,861	91.2%

##### (3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減等により昨年度に比べ 3,194万円余の減、事業費は営業費用の減等により 5,353万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は 5,373万円余のマイナスを見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	366,225	398,168	△ 31,943	営業収益の減
	事業費	419,958	473,497	△ 53,539	営業費用の減
	収支残	△ 53,733	△ 75,329	21,596	
資本的 収支	資本的収入	0	771	△ 771	工事負担金の減
	資本的支出	87,333	107,316	△ 19,983	建設改良費の減
	収支残	△ 87,333	△ 106,545	19,212	

※資本的収支の不足額 87,333千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定

#### 5 むすび

以上が、工業用水道事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

## 地域振興事業の業務状況

地域振興事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

### 1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

令和3年度下半期の利用者数は17,826人で、目標に対する達成率は97.4%、施設利用料収入は924万円余で、目標に対する達成率は83.7%となりました。

#### (1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		令和3年度 (B/A)	令和2年度
10月	3,000	1,792	1,045	2,837	△ 163	94.6%	101.6%
11月	3,300	1,878	1,283	3,161	△ 139	95.8%	114.7%
12月	3,300	2,288	1,142	3,430	130	103.9%	109.6%
1月	3,100	1,787	1,217	3,004	△ 96	96.9%	92.6%
2月	2,800	1,518	1,144	2,662	△ 138	95.1%	106.7%
3月	2,800	1,700	1,032	2,732	△ 68	97.6%	108.0%
下半期計	18,300	10,963	6,863	17,826	△ 474	97.4%	—
前年度下半期計	16,700	10,891	6,738	17,629	929	—	105.6%

※平日の65歳以上の利用者数は9,045人で下半期全体の50.7%

#### (2) 施設利用料収入（納付金）

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和3年度 (B/A)	令和2年度
下半期計	11,051	9,248	△ 1,803	83.7%	—
前年度下半期計	10,358	7,214	△ 3,144	—	69.6%

#### (3) 職員の状況

(単位：人)

区分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合計
	事務職	技術職	小計		
下半期	0	0.1	0.1	0	0.1
前年度下半期	0	0.1	0.1	0	0.1

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

※各年度とも0.1人は工業用水道事業会計との兼務

## 2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の減等により、事業収益の収入率は91.7%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は86.3%となりました。

### (1) 収益的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

#### ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	20,156	18,349 (9,260)	△ 1,807	91.0%
営業外収益	1,864	1,839 (932)	△ 25	98.7%
特別利益	0	0 (0)	0	—
<b>事業収益</b>	<b>22,020</b>	<b>20,188</b>	<b>△ 1,832</b>	<b>91.7%</b>
前年度事業収益	16,986	18,563	1,577	109.3%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	18,460	16,427 (6,924)	0	2,033	89.0%
営業外費用	1,448	1,439 (778)	0	9	99.4%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	800	0 (0)	0	800	0.0%
<b>事業費</b>	<b>20,708</b>	<b>17,866</b>	<b>0</b>	<b>2,842</b>	<b>86.3%</b>
前年度事業費	24,501	22,215	9	2,277	90.7%

※ ( ) 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
資本的収入	0	0	0	—
前年度資本的収入	0	10	10	—

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	5,005	2,849 (2,849)	0	2,156	56.9%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	0	100.0%
予備費	3,000	0 (0)	0	3,000	0.0%
資本的支出	17,973	12,817	0	5,156	71.3%
前年度資本的支出	30,013	24,488	0	5,525	81.6%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和3年度下半期に実施した主な改良工事はありません。

## (3) 損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

収益の部は、施設利用料等により 1,853万円余となり、費用の部は、1,646万円余となった結果、206万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	18,532 (9,351)	
営業収益	16,692 (8,418)	施設利用料など
営業外収益	1,839 (933)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	16,468 (6,969)	
営業費用	16,389 (6,890)	
営業外費用	80 (80)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	2,063	
前年度繰越欠損金	11,374	
当年度未処理欠損金	9,311	

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

## (4) 貸借対照表（令和4年3月31日現在）

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	636,587	固定負債	703,585
スポーツ・レクリエーション施設	636,541	建設改良他会計借入金	703,195
無形固定資産	22	引当金	390
投資その他の資産	24		
流動資産	193,960	流動負債	12,198
現金及び預金	5,181	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	4,779	引当金	30
雑流動資産	184,000	未払金	1,394
		未払費用	806
		繰延収益	1,140
		長期前受金	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 865
		負債合計	716,923
		資本金	97,935
		組入資本金	97,935
		剰余金	15,689
		利益剰余金	15,689
		資本合計	113,624
資産合計	830,546	負債資本合計	830,546

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

### 3 資産・企業債及び借入金の現在高

#### (1) 資産

令和4年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
スポーツ・レクリエーション施設	636,541	土地	28,457
		建物	72,353
		構築物	519,656
		機械及び装置	573
		備品	15,502
無形固定資産	22	ソフトウェア	22
投資その他の資産	24	長期前払金	24
現金及び預金	5,181	当座預金	5,181
未収金	4,779		
雑流動資産	184,000		
合 計	830,546		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

#### (2) 企業債

令和4年3月31日現在、企業債の残高はありません。

#### (3) 一時借入金

令和4年3月31日現在、一時借入金ははありません。

#### (4) 他会計借入金

令和4年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備 考
電気事業会計	895,000	181,837	713,163	
合 計	895,000	181,837	713,163	償還率 20.3%

#### 4 令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要

##### (1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

##### (2) 業務予定量

年間利用者数（目標）は31,500人とし、施設利用料は1,963万円余を見込んでいます。

（消費税込み）

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
年間利用者数 （目標）	人 31,500	人 31,500	100.0%
施設利用料 （目標）	千円 19,637	千円 20,016	98.1%

##### (3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減により昨年度に比べ48万円余の減、事業費は、営業費用の減により136万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は220万円余（対前年度比66.6%増）を見込んでいます。

（消費税込み 単位：千円）

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	21,531	22,020	△ 489	営業収益の減
	事業費	19,330	20,699	△ 1,369	営業費用の減
	収支残	2,201	1,321	880	
資本的 収支	資本的収入	0	0	0	
	資本的支出	16,591	17,973	△ 1,382	建設改良費の減
	収支残	△ 16,591	△ 17,973	1,382	

※資本的収支の不足額16,591千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

#### 5 むすび

以上が、地域振興事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場を目指し、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。





令和3年度下半期

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

# 目 次

## 県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	.....	20	頁
2	経理の状況	.....	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	.....	22	〃
4	令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要	.....	23	〃

## 県立病院事業の業務状況

県立病院事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

### 1 事業の概況

令和3年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

#### (1) 患者の概況

令和3年度下半期における利用患者数は、延入院患者数145,406人、延外来患者数171,633人で、前年度同期と比較すると、入院で2,452人、外来で8,811人増加しています。

#### ア 延入院患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	3年度	2年度	増減	増減率
宮崎病院	60,134	58,801	1,333	2.3
延岡病院	52,562	50,532	2,030	4.0
日南病院	32,710	33,621	△ 911	△ 2.7
計	145,406	142,954	2,452	1.7

#### イ 延外来患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	3年度	2年度	増減	増減率
宮崎病院	75,289	72,955	2,334	3.2
延岡病院	51,938	48,382	3,556	7.3
日南病院	44,406	41,485	2,921	7.0
計	171,633	162,822	8,811	5.4

#### (2) 職員の状況

(単位：人)

年度	職種								計
	医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	その他の医療技術員	看護師等	事務員		
2年度	211	48	46	56	88	1,098	70	1,617	
3年度	217	50	45	56	91	1,117	68	1,644	
増減	6	2	△ 1	0	3	19	△ 2	27	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

## 2 経理の状況

### (1) 収益的収支（下半期）

令和3年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,158,043	1,418,922	0	7,576,965	8,109,040	405,901	0	8,514,941	△ 937,976
延岡病院	5,698,705	1,228,067	0	6,926,771	5,964,424	372,191	0	6,336,615	590,156
日南病院	2,462,599	790,751	43,856	3,297,206	3,259,328	192,205	0	3,451,533	△ 154,327
計	14,319,347	3,437,740	43,856	17,800,943	17,332,792	970,298	0	18,303,090	△ 502,147

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

### (2) 資本的収支（下半期）

令和3年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	15,988,400	建 設 改 良 費	18,437,084
一 般 会 計 負 担 金	1,297,459	企 業 債 償 還 金	1,768,646
補 助 金	16,394	投 資	900
そ の 他 資 本 収 入	0		
計	17,302,253	計	20,206,630
		収支差引	△ 2,904,377

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

### (3) 貸借対照表

令和4年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
固定資産	58,903,488	固定負債	49,188,749
流動資産	19,129,210	流動負債	17,270,486
繰延資産	0	繰延収益	3,973,623
		負債合計	70,432,858
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 5,143,556
		資本合計	7,599,840
資産合計	78,032,698	負債・資本合計	78,032,698

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

### 3 企業債及び借入金の現在高

#### (1) 企業債明細表

令和4年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	36,413,000	948,499	3,084,584	33,328,416
延岡病院	24,291,670	1,505,592	16,260,182	8,031,488
日南病院	18,108,630	1,070,085	11,944,687	6,163,943
計	78,813,300	3,524,176	31,289,453	47,523,847

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

#### (2) 一般会計借入金

なし

#### (3) 一時借入金

なし

#### 4 令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要

##### (1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

##### (2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	4年度目標	3年度目標	増減
延入院患者数	305,505	292,000	13,505
延外来患者数	348,219	324,280	23,939
計	653,724	616,280	37,444

##### (3) 予算の概要

###### ア 収益的収入及び支出

###### 収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業収益	医業収益	入院収益	39,283,223	
		外来収益	29,219,321	
		一般会計負担金	19,996,745	
		その他医業収益	8,090,992	
			746,352	
	医業外収益	受取利息配当金	10,063,902	
		一般会計負担金	1,000	
		一般会計補助金	8,124,786	
		補助金	252,230	
		長期前受金戻入	52,793	
		その他医業外収益	1,548,800	
			84,293	
	特別利益		0	

###### 支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業費用	医業費用	給与費	39,834,035	
		材料費	39,238,635	
		経費	17,865,876	
		減価償却費	10,449,062	
		資産減耗費	6,227,232	
		研究研修費	4,127,640	
			370,498	
			198,327	
			592,400	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	281,509	
		雑損失	59,072	
		消費税及び地方消費税	15,000	
		繰延勘定償却	0	
		長期前払消費税勘定償却	236,819	
			0	
特別損失		0		
予備費		3,000		

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入	企業債		7,250,745	
		企業債	4,868,700	
	一般会計負担金	一般会計負担金	4,868,700	
		一般会計負担金	2,382,045	
	補助金	補助金	2,382,045	
			0	
			0	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出	建設改良費		9,104,611	
		改築整備費	5,611,611	
		改良工事費	2,528,213	
		資産購入費	1,168,291	
		リース資産購入費	1,679,137	
			235,970	
	企業債償還金	企業債償還金	3,456,000	
		企業債償還金	3,456,000	
	投資	投資	36,000	
	予備費	投資	36,000	
			1,000	

5 むすび

県立病院事業の令和3年度下半期の業務状況と令和4年度の事業の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保を目指してまいります。